

四国8の字ネットワークの早期実現 ～ミッシングリンクの早期解消～

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

四国の自立と発展のために必要不可欠である高規格幹線道路網「四国8の字ネットワーク」の早期実現を図るため、ミッシングリンク（未連結区間）については国が責任を持って確実に連結するとともに、そのために必要な財源を確保し、連結することで大きな効果が生まれる箇所大胆に重点投資することが必要です。

【政策提言の具体的内容】

1. ミッシングリンク解消を整備計画等へ位置付け

「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクである以下の区間について、国の整備計画等に明確に位置付け、計画的に実行していくことが必要だと考えます。

- 四国横断自動車道 黒潮町佐賀～四万十市間、宿毛市～愛南町間
- 高知東部自動車道 芸西西IC～安芸西IC間
- 阿南安芸自動車道 安芸市～阿南市間

2. 「予算枠」の確保

国の整備計画等を着実に実現するため、ミッシングリンクの解消に必要な「予算枠」を確保することが必要だと考えます。

- 限られた予算を効率的に活用するため、コスト削減を図るとともに、完成2車線で整備するなど、地域の実情に応じた整備手法が重要。
- ミッシングリンクの解消は、今後10年間を目途に実現。
（「四国8の字ネットワーク」の連結には、1兆円程度が必要）

3. 「選択と集中」により重点投資

国民の命と暮らしを守るために「選択と集中」の観点から、以下のような箇所に重点投資すべきだと考えます。

- 高度医療施設等への救急搬送時間が大幅に短縮され、救命率の向上や到達圏域の拡大に繋がる地域
- 地震や豪雨災害などにより地域の孤立が予想されるような、幹線道路網が脆弱で代替道路も無い地域。
- 鉄道など公共交通が脆弱で、自動車に依存せざるを得ない地域。
- 観光客の増加や大都市圏への販路拡大など、連結の効果が特に高い区間。

【政策提言の理由】

- 地域間の連携や競争を行ううえで、各地域が同じスタートラインに立ち、地域独自の工夫を発揮できるよう、必要最低限の社会基盤が一定の水準で整備されていることが必要です。
- 四国8の字ネットワークは、四国の骨格を形成する最も優先して整備されるべき高規格幹線道路網ですが、ミッシングリンクが存在する地域では、救急搬送の遅れによる救命率の低下や、豪雨災害時には道路が寸断され、集落や地域全体が孤立する実態があります。
- 国土交通大臣は、これまでの1万4千kmの高速道路ネットワーク計画について見直しが必要と見做すとし、料金体系なども含め、すべての高速道路のあり方や運営方法について、年内を目処に整理するとしており、未着工区間の整備の見送りが懸念されます。

【高知県担当課】土木部 道路課